

令和5年度 国語科「国語表現（選択科目）」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	園芸・自動車・情処科 3年 A・B・C・D組
教科書	国語表現（大修館書店）	副教材等	常用漢字オールクリア（尚文出版）、プリント

1 学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2 重点目標

実践的なコミュニケーションの練習を通じて伝え合う力を高め、社会生活に必要な能力を育成する。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	書いて伝える	整った文を書く 絵や写真を見て書く	文章を書くための基礎を養う。誤りがなく読みやすい文章を書くことで、他者へ伝える力を身につけることを重点とする。 接続詞を的確に使用し、文脈を論理的につなぐ方法を学ぶ。絵や写真を説明できるようにする。	言葉・表現への関心を深め、わかりやすい文を書くための技術を理解できたか、プリント等で確認する。
5	声とコミュニケーション	言葉のストレッチ体操 リーダーズシアターを開こう	「耳を澄ます」「声を人に届ける」「人と言葉を交わす」といったコミュニケーションの基礎的な力を養う。 朗読劇に取り組み、伝えたいことがらや気持ちにふさわしい声の使い方を身につける。	意識を集中して注意深く聞いているか。目的に応じて言葉遣いや表現を工夫しているか確認する。
6	表現力を養う 自己PRと面接	効果的の自己PR 志望動機	自分の特長や魅力を明確に言語化し、印象的に表現できるようにすることに重点を置く。	今後の進路を考えた上で、自分がどのような人間なのかを表現できたか、プリント等で確認する。
7		面接 期末考査	面接でのマナーを学び、質問に対しての具体的な答え方を身につける。	面接のマナーや正しい言葉遣いが身についたか、実践練習やプリント等で確認する。
9	メディアを駆使する	通信文を書き分ける	通信文の書き方と使い分けを学ぶ。改まった場面での電話のやりとりを身につける。メディアの特徴を理解し、吟味しながら活用する。	受け手のことを考え、効果的に伝達するための工夫ができたか。ネットを使ったコミュニケーションについて理解できたか。メディアを知り、活用できたか、プリント等を通じて確認する。
10		電話を使いこなす ネット社会とコミュニケーション		

11	会話・議論・発表	相手や場面に応じた会話	相手や場面に応じた話し方を学ぶ。集団で議論を重ね、結論を導く。プレゼンテーションの方法とコツを学ぶ。	場面にふさわしい話し方や言葉遣いを身につけられたか。建設的な議論を行えたか。発表を工夫して情報を効果的に伝えられたか、実践における発言やプリント等で確認する。
12		議論して結論を出す		
		プレゼンテーションの工夫		
		期末考査		
1	小論文・レポート入門	小論文とは何か反論を想定して書く	小論文とはどういうもので、表現上どういうことが大切なのかを理解する。対立する立場を想定し、強い説得力をもたせる。	小論文の性質や、基本的な構成、推敲の方法を学ぶことができたか。文章に説得力をもたせられたか、小論文、プリント等で確認する。
2				
3				

4 評価の観点

関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
書く能力	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
読む能力	
知識・理解	言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。

5 評価の方法

関心・意欲・態度、話す・聞く能力、書く能力、知識・理解、の4観点から、評価規準に従い総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

毎時間の板書内容のノートへの書き取りを忘れない、怠らない。ノート提出及び点検があるので、それに備えておく。プリントや課題の提出をおろそかにしない。議論で意見発表を積極的に行う。以上が十分にできれば、単位修得の可能性は高い。
